

< 匹見上地区 >

	意見	回答	担当委員会
1	石見空港利用、割引助成制度について、現行2人以上を対象人数としているが、1人からでも対象にならないものか。	<p>現行制度の確認と担当課の見解を後日回答します。</p> <p>【執行部回答 観光交流課】 萩・石見空港利用拡大促進協議会の運賃助成の考え方は、複数人での利用促進を基本としています。例外として、25歳以下の若年層については、往復限定で1人から運賃助成しています。また、メールマガジン会員登録者については、不定期であるが個人を対象に片道から利用できる運賃助成を行っていることから、メールマガジンに登録頂き、飛行機利用をご検討頂きますようお願いいたします。</p>	経済建設
2	国政選挙中で政治の関心が高まるなか、各政党が新型コロナ対応や米価の下落に対する政策を打ち出している。益田市議会としてもこの件についてどう対応するのか。	<p>現在のところ米価下落に対して、議会として具体的に議論した経緯はありませんが、他地区でも同様の意見があることから、今後検討していきたいです。</p>	経済建設
3	米価下落の問題については、特別委員会でも議論し、提言していくべきではないか。この状況が続くのであれば稲作をやめる農家も増え、不耕作地となり有害鳥獣の被害も多くなり管理も大変になる。	<p>これから食糧問題が表面化してくると思われます。20年前、農地600万ヘクタールで自給率60%にしたら、仮に輸入がストップしても日本が飢えることはないと言われていました。現在農地が減り、世界の人口が増加するなか、中山間地域の問題は重要になってきます。これからしっかりと特別委員会で議論していきます。</p>	経済建設 中山間 地域振興

4	<p>収入減少農家への国・県・市の支援策について聞きたい。また、農業者戸別所得補償制度の復活を希望する。</p>	<p>飲食店等への新型コロナによる影響への支援策はありますが、個人農家に対する補償があるかどうか担当課へ支援策を確認し回答します。</p> <p>【執行部回答 産業支援センター】 既に終了しました益田市緊急経済応援給付金については、個人農家は支給対象者とはしておりませんでした。今度同給付を再度実施する際には、改めて支給対象者についても検討します。 また、1月31日まで申請受付を行っております島根県中小企業等事業継続特別給付金については、全業種が対象です。支給要件等は県HPでご確認いただき、1月28日までは益田商工会議所にてサポートデスクも開設されていますので、ご利用ください。</p> <p>【執行部回答 農林水産課】 国ではコメ価格下落時への対応を含め、農家所得を安定する観点から「収入保険」制度を設けています。また、県では、今回の米価下落に際して、当面の稲作経営に必要な資金として「稲作経営安定緊急対策資金」を創設しています。県の中小企業等事業継続特別給付金についても、個人農業者も対象ということで、市としては、水稻生産者の皆様に、これらの対策を有効に活用していただくよう、情報提供しているところです。 また、米の需給悪化の改善のための在庫の抜本的解消対策や、米の需給及び価格の安定を図るための取り組みについて、県、市から国に要望しているところです。</p>	経済建設
5	<p>議会のあり方検討委員会について、具体的にどのようなことを検討し、目指すところは何か。</p>	<p>益田市議会基本条例に基づき検討を行っていきます。この度の改選に伴い、3期以内の議員を中心に7名の委員で議会のあり方検討委員会を設置しました。今後2年をかけて、議会のあり方をあらゆる角度で議論していきます。</p>	議会のあり方
6	<p>中山間地域振興特別委員会が設置されていたが、机上だけの議論でなく、年に数回は実際に対象現場に出向き状況を把握していただきたい。</p>	<p>特別委員会が9月に設置されたばかりで、これから何を議題に議論するか決めていくこととなります。ご意見を参考に議論を進めていきます。</p>	中山間地域振興
7	<p>コロナ禍、貧困者や子ども食堂などに備蓄米の有効使用をしてほしい。</p>	<p>農家から買い上げた政府米約15万トンが緊急時に備え保管されています。有効に活用される必要があると考えます。</p>	経済建設
8	<p>匹見小・中学校の同一校舎整備に旧匹見町時代の育英基金を運用したと聞いたがどうか。本来匹見町の児童・生徒のために使用していた育英基金であるのでこれまで同様な用途に活用してほしい。</p>	<p>執行部からの提案を受け、議会の中でも多くの意見が出されました。旧匹見町の育英基金として使われる目的で寄付された基金であり、当初の目的とは違う形で使用することについては、問題視したところです。国からの予算が確定したため、予算の組み替えをしたところです。今後も当初の目的に見合った用途となるよう注視していきます。</p>	総務文教

9	<ul style="list-style-type: none"> ・益田市地域公共交通計画について、現在匹見町の高齢化率は約63%で、移動手段の確保は重要な課題である。確保と共に利用しやすい運航時間とルート（病院直通便など）を検討してほしい。早朝便だけでなく増便できないか。早朝を逃すとタクシー移動すると料金が1万円を超えてしまう。年金生活者の高齢者にはとても不便である。 ・やまびこバスを利用する地域もあるが、接続の便が悪い。 ・免許返納時が、交通事業所の限定や他市との比較で差がある。 	<p>連携のまちづくり推進課へ意見を伝えます。</p>	<p>総務文教 中山間地 域</p>
10	<p>グリーンライン90の開通は合併時の条件であったが未だに完成していない。後1ヶ所トンネルを開通する予定だが、それも10年はかかると言われている。状況はどうなっているのか。</p>	<p>担当課へ伝えます。</p> <p>【執行部回答 都市整備課国県事業推進室】 グリーンライン90につきましては、平成16年の合併以降、県の支援事業として取り組まれるよう、市の重点事項として要望してまいりました。</p> <p>その結果、県道波佐匹見線の改良は完成し、国道488号の澄川工区、広瀬工区、落合工区を残すのみとなり、今年度は澄川工区、広瀬工区、落合工区において、落石対策や道路拡幅工事が実施されるなど、着実に事業を進めていただいているところです。</p> <p>また、県では令和2年度に「今後10年間の公共土木事業の実施方針」を策定し、その中でグリーンライン90は骨格幹線道路に位置付けられ、令和11年度までに未改良区間の解消を目指すこととなっております。</p> <p>市といたしましても、一日も早い完成を求め、引き続き県へ働きかけてまいります。</p>	<p>経済建設</p>
11	<p>現在新型コロナワクチン2回目接種率が80%を超えている。国の方針としても3回目の接種が必要と言われていたが、状況の確認と益田市としての対応について聞きたい。</p>	<p>確定情報はまだありません。益田市の対応も決まっていません。（10月当時の状況）</p>	<p>福祉環境</p>
12	<p>益田市が発表する新型コロナ感染者情報について、益田市内の感染者数発表だけでなく、隣接地域（北広島・浜田市・萩市・津和野町・六日市）としての情報も提供してほしい。</p>	<p>感染者状況の情報については、県が発表した情報以外は把握しておらず、それ以上具体的な情報は発信できないのが実情です。個人情報保護・誹謗中傷を避けるためにも具体的な発表はしていません。</p>	<p>福祉環境</p>
13	<p>益田市における新型コロナワクチンの高齢者（65歳以上）対象1回目、コールセンター予約対応に不満の声が多くあがっていた。電話予約では繋がらない状況である。ウェブ予約では予約が取れるものの高齢者では操作が出来ず電話が繋がるまで待っていた。その状況を予測し混乱を招かない対応をとってほしい。</p>	<p>次回3回目接種のときには、混乱しない方策となるように、執行部に意見していきます。</p>	<p>福祉環境</p>
14	<p>新型コロナ感染陽性者情報が人数だけで具体的でない。初期情報が曖昧なため、噂が噂を呼び混乱を招く状況となっていた。行政としては当たり前なことでも、市民にとっては当たり前でないこともある。周知方法を徹底して情報の共有が必要である。</p>	<p>ご意見としてお受けいたします。</p>	<p>福祉環境</p>

15	<p>災害時における避難勧告時の行動について、避難勧告が出ても高齢者が多く、速やかな避難場所への移動が困難である。移動手段の確保と早い段階で行動が出来る情報提供を願う。緊急時、共用車の使用制限の緩和を要望する。</p>	<p>執行部に確認し、回答いたします。</p> <p>【執行部回答 危機管理課】 令和3年5月20日に災害対策基本法が改正され、警戒レベル3「高齢者等避難」で避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は危険な場所から避難、警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から全員避難となり、避難勧告は廃止されています。あらかじめ避難に時間がかかると予想される方は、警戒レベル3の段階で避難していただきますようお願いいたします。 災害時に危険が迫っているなど緊急時での避難支援に共用車を使用することは想定されますが、原則として、事故発生時の問題もあり、公用の車両に市民の方を乗せることは難しいと考えます。まずは、災害時の避難手段などしっかりと日頃から検討をしていただき、早めの避難行動をお願いいたします。</p>	総務文教
16	<p>三葛地区の避難場所は旧小学校の体育館となっているが、老朽化が激しく天井が崩れ落ちそうである。平成30年頃に状況を行政にも伝えているが、未だ対応されていない。また災害の種類（火災・水害）によって避難場所が異なる。緊急時に冷静な判断が出来ないので間違える可能性がある。</p>	<p>避難場所がそのような状況であるにもかかわらず対応していないことはあってはならないと思います。執行部に早急な対応を求めます。</p> <p>【執行部回答 体育館は協働のひとづくり推進課】 避難所の指定について、担当課（危機管理課）と再考するよう協議中です。</p> <p>【執行部回答 避難場所は危機管理課】 近年、新型コロナウイルスの影響で、避難所に行くだけが、避難ではないとされてきています。安全な場所にある自宅、友人宅、親戚の家などへの避難を検討して下さい。旧小学校体育館については、避難所として適切であるか再検討をしたいと思います。</p>	総務文教
17	<p>最近では市内中心部に大型店舗の進出が目立つ状況である。地元個人店が影響を受け、やめざるを得ない。大型店舗は、本社が益田市内でないため、お金が外に流れ地元が潤わない。対応を考えなければ県・市の存続が危ぶまれる。</p>	<p>まずは、地元住民が地元企業での消費を心がけていただきたいと思います。</p> <p>大店法が2000年に撤廃され、地方への進出が激しくなってきました。TPPもしかり、弱者が不利な状況となってきています。政治的な政策のため、即座には対応できませんが、この問題を真剣に考えていかなければならないと考えます。</p>	経済建設
18	<p>新型コロナ情報等、告知端末で放送される緊急時アナウンスの音声が入工の音声で危機感を感じさせない。何か意図があるのか。</p>	<p>危機管理課、関係部署に確認して回答します。</p> <p>【執行部回答 危機管理課】 市では住民への迅速な防災情報を提供するため、告知放送、防災スピーカー（屋外拡声放送システム）、安全安心メール、防災アプリ等を一斉配信できるシステムを構築しており、音声で流れる告知放送については、一斉配信を実施するため文字を読み取って合成音声として放送されています。</p>	総務文教